



私たち『はぐくみ』 vol.6
hug kumi

発行日／平成31年3月

発行
新潟市西区役所 健康福祉課

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3-14-41
TEL025-264-7343 FAX025-269-1670
URL <https://www.city.niigata.lg.jp/nishi/>

企画・編集
hug kumi 編集委員会



- hug kumi ご紹介(バックナンバー)
- 孫育てエッセイ
- 愛情も時間も“たっぷり”孫育てたっぷりまご育て
- お盆やお正月、たまに孫育て たまにまご育て
- わりきり? 合理的? 私たち流 まご育て
- はぐくみの窓
- みんなの知恵を集めたよ どうしてそ~なるの?
- 地域の未来に関わる たまご育て
- おじいちゃん、おばあちゃんだからこそ、伝えられること
- 大切な子どもを守るために 知っておこう! 子ども虐待
- 子育て相談窓口



もくじ

- P01 hug kumi ご紹介(バックナンバー)
P02 孫育てエッセイ
P03 愛情も時間も“たっぷり”孫育て
たっぷりまご育て ●じいじ・ばあばの気持ち ●パパ・ママの気持ち
P05 お盆やお正月、たまに孫育て
たまにまご育て ●じいじ・ばあばの気持ち ●パパ・ママの気持ち
P07 わりきり? 合理的?
私たち流 まご育て ●自分たちに合った方法で、楽しく孫育て
P08 はぐくみの窓
P09 みんなの知恵を集めたよ
どうしてそ~なるの?
P11 地域の未来に関わる
たまご育て ●地域の子育てに関わるお二人にインタビュー
P12 おじいちゃん、おばあちゃんだからこそ、伝えられること
NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 / NPO法人孫育て・ニッポン理事 村上 誠
P13 大切な子どもを守るために 知っておこう! 子ども虐待
P14 子育て相談窓口

hug kumi



バックナンバーは、新潟市西区のホームページでご覧いただけます。
「hug kumi(はぐくみ)」は、「親も子どもも抱きしめ(hug) みんな手を組み(kumi)子どもたちを育てよう!」との想いで
2014年から発行している西区子育て情報誌です。



vol.1



vol.2



vol.3



vol.4



vol.5



vol.6

夫婦で子育てって言うけれど
働き方の改善は中々進まなくて
パパもママも仕事と育児の両立でへとへと
だったら、じいじ・ばあばに
サポートしてもらうのはどうだろう?
でも

じいじ・ばあば世代の子育てと今の子育ては
違うところもいっぱい
違うから頼めない! じゃなくて
どうしたらいいのかを
教えてもらえれば、手伝うよ

そして
パパ・ママも子育てに迷ったときは、
じいじ・ばあばにも聞いてみて
あなたやあなたのパートナーを育てたのですから



愛情も時間も“たっぷり”孫育て たっぷりまご育て

「甘やかしすぎじゃない？」 ～イラ美さん36歳のお悩みより～

平日仕事で帰りが遅いため、4歳になる息子は保育園の後、車で15分のママの実家に預かってもらっています。ある日のこと、息子が「じいじの家の子になりたい!だってママすぐ怒るから!」と言い出しました。じいじは「そうか?一緒に住むか?じいじの家の子になってもいいぞ!」と勝ち誇ったような満面の笑みです。子どもをみてる両親には感謝していますが、孫が可愛いからって甘やかしすぎ!しつけをしている私の方が悪役?と日に日にイライラが積もります。



子育て環境は理想的!それでも不満は、あるんですよね～。

じいじ・ばあばの気持ち

じいじの気持ち

子どもは、元気で楽しく過ごしてくれればいい!そんなに怒る必要あるんかね? 家にいるときは、ノビノビしてほしいね。

パパ・ママの気持ち

ママの気持ち

根気よくしつけをしてきたのに、実家に行くとあっという間にしつけの習慣が崩されて…。今までの私の努力は何だったのかなあ?

そもそも、子どもに対する思いが違っている

パパ・ママは社会に出ても恥ずかしくないように、子どものしつけを必死でやっているのに、目の前でじいじ・ばあばに甘やかされると、しつけを否定され、パパとママの敵が現れたように思ってしまう。じいじ・ばあばに親子の約束事を伝えて協力をお願いしたり、「叱る人」と“逃げ場”になる人を役割分担することで、敵ではなく味方同士としてタッグが組めるかも。

- 教育方針をまめに話し合おう
- 役割分担をしてみよう
- 子育てをするチームになろう

じいじ・ばあばの気持ち

孫が家に来るのは大歓迎!でも、泣かれたり、ごねられるとどうしていいかわからないよね。お菓子をあげたり、TVを見ている間はご機嫌だから、どうしてもねえ…。

ママの気持ち

子どもの面倒を見てくれて助かっているんだけど、夕食前にお菓子をあげたり、だらだらTVをつけっぱなしにしていたり、他に遊ぶ方法を考えてくれたらいいのに!

任せっぱなしにしていない?

パパ・ママの方で、子どもの喜ぶ絵本やおもちゃを用意しよう。少し大きくなったらボードゲーム等、じいじ・ばあばと孫と一緒に遊べるアイテムを渡しておく、お菓子やテレビに頼らずに遊ぶことができるかも。ご飯の前なら、お菓子ではなく「おにぎりを食べさせて」と具体的に伝えるなど、お互い困っていることを相談しながら良い方法を見つけよう。

- 親は遊びのアイテムを用意したり、具体的な提案をしてみよう
- 困っていることは、心に溜めずに話し合おう

ばあばの気持ち

毎週遊びに来るのもいいんだけど、孫を置いてパパ・ママ二人で出かけちゃうとイラッとするよね。こちらの都合は二の次にされているような気がするから。

ママの気持ち

子どもが少し具合が悪いと「早く医者に連れて行け!」ってうるさい! 心配なのは分かるけど、こちらにはこちらの段取りがあるのだから。

お互いの予定や段取りを確認しましょう

パパ・ママとしては、じいじ・ばあばに「孫と過ごす時間を作ってあげている」と思っているかもしれませんが、じいじ・ばあばにも予定がありますし体調の変化もあります。相手の予定をたずねることをしましょう。パパ・ママは仕事や家事を調整しながらスケジュールリングをしています。じいじ・ばあばは心配で気ももめるかもしれませんが、見守りながら様子を見ましょう。

- 共通のカレンダーに予定を書き込む、スケジュール管理アプリを利用する等工夫してみよう
- お互いに「言わなくても分かるはず」と思わずに、理由や気持ちも少し丁寧に伝えてみよう



お盆やお正月、たまに孫育て

たまにまご育て

「帰省から戻るとぐったり」 ～お疲れTさん27歳のお悩みより～

パパの実家は農家のため、お正月やお盆の他に田植えや稲刈りの時期にも帰省します。行くと、1週間は滞在するのですが、義母は農業をしながら地域の仕事もし、滞在中に「何か手伝います」と言っても「座っていいから」とバタバタと家事をこなしています。目の前で忙しそうにしているのに、何もしなくていいと言われるとかえって疲れてしまい、帰省から戻るとぐったりして必ず熱を出して寝込みます。嫌なことがあったわけでもないのに、帰省が辛く感じてしまいます。



違う人間どうしですから、ゆっくり関係を作っていきます。

じいじ・ばあばの気持ち



パパ・ママの気持ち



ばあばの気持ち

台所は私のやり方があるし気をつかうから、ママに手伝ってもらより自分でした方が楽です。ママもゆっくりしてて!

ママの気持ち

ゆっくりしてって言うけど、本当はお料理くらいやった方がいいのかしら? 邪魔なのかな?色々考えてかえって気をつかっちゃう。

家事などは、適度な作業分担を

じいじ・ばあばには“自分のやり方”や、“昔からそうしている”ことがあるかもしれませんが、家の人が目の前で忙しそうに動いているのにお客様でいるのも気をつかうものです。手伝ってもらえそうなことは、お願いしてみましょう。手を動かしながらだと会話も弾むし、パパ・ママから新しい家事のやり方を教わるができるかも。家の雰囲気はこれからみんなで作る気持ちで。

- 作業を通してお互いを理解し合おう
- 適度な家事が、緊張したママの居場所になる場合も

ばあばの気持ち

息子は仕事と子育てで疲れているみたいだし、実家に来たときくらいは、ゆっくり休ませてあげたいよ。

息子の好物も食べさせたいし、孫たちにもばあばの味を知ってほしいからね。うちは孫がいっぱいで大変だわ～(嬉)

パパの気持ち

実家に行くと両親が喜んで子どもを見てくれるし、ゆっくりさせてもらってます。甘えるのも親孝行!

ママの気持ち

私がこんなに気をつけているのに、パパはお義母さんに甘えてて、腹が立つわ～

帰省時のパパの役割は?

たまに行くパパの実家。パパのゆっくりしたい気持ちもわかるけど、最初のころは、ママにとっては文化の違う外国へ一人で乗り込むくらいな感覚。異文化交流ができるまでは、ママの味方になりながらアシストを。ママは、年齢の近い親戚ママに、いろいろ相談してみてもいいかもね。

- 親戚・親族内だけで話が盛り上がってしまったら、さりげなくママにも気を配って!
- すぐに打ち解けられないからといって焦らないで! 時間をかけてゆっくり関係を育もう

じいじの気持ち

普段は年寄り二人だから、食費も生活費もあまりかからないけど、息子夫婦と孫の笑顔に財布の紐が緩んでしまったよ。食事代、おもちゃ代、お年玉…そろそろ年金生活になるから、今後はきつそうだなあ…。

パパ・ママの気持ち

帰省にかかる交通費、お土産…結構お金がかかるけど、行っちゃえば食費もかからないし、たまにだから甘えちゃおうかな。子どもたちも、お年玉やおもちゃを買ってもらえるから楽しみにしているし。

両方ともお金の負担が大変

毎年の事なので、話し合いをしてみてもいい? お土産をやめてその分を食事代にまわすアイデアもアリですよ。帰省で増えた人数分の食事を毎食作るのも大変。この日はパパ・ママが食費を出して作るとか、この日は外食に行くとか、負担にならない新しいルールを提案し合うのもいいかも。

- 毎年の習慣でも、自分たちの金銭感覚に合わなければ、話し合って改善してみよう
- 滞在期間が長い場合は、じいじ・ばあばの負担になっていないか気づかってみてね





わりきり？ 合理的？

私たち流 まご育て

①必要な物リストをメールやLINEで送ってもらう

九州から飛行機で帰省する息子たちから、帰省した時に必要なもののリストを送ってもらいます。チャイルドシートやバウンサー（子ども用の椅子）はレンタル。チャイルドシートは帰省中に車でお出かけてきて便利。荷物としてかさばるオムツやおしりふきは購入しておきます。



私たち流ポイント

息子夫婦の子育てを尊重し、今の時代にあった物を用意するようにしています。若い人と価値観が違って、興味を持って楽しんでしまいますよ。

私たち流ポイント

忘れていることもあるので、安全チェックリストをもらえると安心。私も仕事で忙しいので事前の連絡をもらえた方が不要な準備をせずに済みます。（アレルギーがある場合は食品リストもあると安心）

参考にしてね！



新潟市ホームページ

- 子育ての昔と今どんな違いがあるの？
- 子どもの安全チェックリスト

娘や息子に「今と昔の子育ては違う!!!」なんて言われたらショックかも。でもね、じいじ・ばあばが、親として一生懸命育ててくれたことは、娘や息子も感謝していると思いますよ。



②迷ったらパパやママに聞く



娘の子どもを、たのまれて預かっています。学童保育や保育園のお迎え、夕飯の準備、遊び相手、生活面での声かけ、病気のときには病院に連れて行ったり看病をしたりしています。勝手に判断せず迷ったときは必ずパパやママに聞くようにしています。そのまま孫の要望を聞くだけでなく、ダメなものはダメとはっきりと伝えて、よい関係を続けています。

③自分にできる範囲で孫育て

じいじ・ばあばも地域の仕事や趣味等があり、予定が入っているのに、孫を預かるためにキャンセルした！ということも聞きますよ。困っているのを助けたくて「私が何とかしなくちゃ」と思ってしまいがちですが、「今回はごめんね」ということで息切れしないサポートに繋がります。パパ・ママも一時預かりを利用する等、他の方法を考えることで選択肢が広がると思います。

大事なじいじ・ばあばが無理をして体を壊したり、不満がたまって関係が険悪になったら孫たちも悲しむよぉ～！みんなで「ホウ・レン・ソウ」※しましょう！

※ホウ・レン・ソウ
＝報告・連絡・相談



はぐくみの窓

孫育て・子育て。普段思っているなかなか言えない本当の気持ち。あなたなら、どう思いますか？

「基本は夫婦で子育て」

娘の子どもは春から保育園。私は娘夫婦の近所に住んでいます。先日もパパの飲み会の日に娘と孫がウチに泊まりました。翌朝帰り際に、孫がウンチしたり暴れたりして予定の時間に出発できず、待っているパパに電話をすると「何で時間が守れないんだ!!」と怒鳴っていました。SNSにはいつも、笑顔の子どもと自分の写真をのせてイクメンぶりを書いて自慢しているパパに、ばあばは言いたい「いいとこどりしてんじゃねえよ!」。イクメンってなんですか？主体的に子育てしていれば、今まで通り、時間ぴったりにいかないことは分かるよね？

そんなパパですが長期休暇中、子どもをお風呂に入れたり、支援センター通いも覚えて、「パパだけで来るなんてすごいですね～」と職員さんや他のママ達に褒められてその気になっています。世間一般的に、まだまだ支援センターに行くパパは少ないので褒められる段階ですが、その間に娘は美容院に行ったり自分の時間も少し持てるようになりました。パパと子どもだけで過ごす時間は、ママ・パパ両方が子どもを理解し、一緒に子育てをしている気持ちになり、二人の絆に繋がっていくと思うのです。

次のパパへのミッションとして娘に「出かけるた

めに必要な荷物をパパ自身に詰めさせる。パパの車にもチャイルドシートを着ける」と言っているところです。

時代が進んで共働き夫婦が増えても、母乳育児が推奨されている今、最初のうちはママが育児の主体になる時間が多いですが、少しずつ分担し合うことは大事です。小さいことですが、チャイルドシートをどちらの車にもつけるということは、パパ・ママのどちらも保育園へ駆けつけられるということです。小さいことですが大事な一歩。共働きなので、孫が保育園に入ると病気で呼び出しがあると思うけど、両家のじいじ・ばあばとも働いているので、「まずは連れ合いとやりくりしてダメだった時に言ってね」と言っています。



ばあばの「声」にママからも一言



「私もパパとママ両方の車にチャイルドシートを着けたけど、結局お迎えは、私のほうがしていた。」

「保育園へ送るのはパパ、迎えはママ等、最初から役割分担した方がいいかも。」

「チャイルドシートは1台だけに着けて、パパ・ママの予定に応じて乗る車を交換してもいいよ。」

「ママの職種によっては、パパが転職する場合も。選択肢はいろいろあっていいんじゃない?」

「パパ・ママ半々で育児するのが、イクメンでしょ!」

「ママに聞かずに何でもできるのが、イクメン!」

「ママがあんまり言いすぎると、パパがやる気になくすから、言わずに我慢するときもあるよ。」

「ママが頼りやすいのは、自分の実家。ママの実家にばかり負担がかかるって聞きますよ。」

みんなの知恵を集めたよ

どうしてそ~なるの？

🎁 孫へのプレゼント編

デパートに行ったら、子ども服のバーゲン！バブル時代のじいじ・ばあばはバーゲンと聞くと血が騒ぐ。子育て時代を思い出し、子どもに着せたブランドやら、着せたかったデザインを物色、さぞかし喜ぶことだろうと渡したものの…

ママはにっこり笑って受け取ったけど、あの洋服を着たのを見たことがない。あの洋服はどこにいったのかしら？



- 私の着せたいデザインと違うから、「着ない箱」に入れてあります。少し経ったらネットで売っちゃおうと思っています。
- キャラクターがどーんと入っている服を子どもに着せると、私のセンスが疑われちゃうので、パジャマにしちゃいました～。
- もらったのは、ハレの日に着るような動きにくいシャツ。普段着にできないので写真を撮るようなときに着せようかな。

洋服が一番好みが分かれるようです。サプライズでプレゼントするのはやめた方がいいかも。みんなはどうしてる？

Good! じいじ・ばあばが、洋服を買ってあげたいときは、「これ着る？」とメール等で画像を送って、まず確認。

Good! パパ・ママは、買ってほしい洋服の画像にメーカー、サイズ等を添えてじいじ・ばあばに送って見たら？

Good! じいじ・ばあばからお金をいただいたときは、購入後に写真を見せて報告すると、喜んでもらえるよ！

🎊 お祝い事編

5月に初節句を迎える春早々にパパの実家から荷物が届いた。開けてみると立派な兜飾り。お正月に私(ママ)の実家に帰ったとき

に、両親が「初節句の人形を用意するからね」と楽しそうに話していたのに…。パパの実家から送られてきた事を実家に連絡すると、「こちらで予約していたのにどういことだ」と怒り出す始末。兜は、ありがたいけど素直にありがとうと言えない私です。



地域によって、初節句のお祝いの仕方は変わるので、サプライズで送るより事前に相談しましょう。折角のお祝い事なのだから、みんなニコニコで迎えてほしいですね。

Good! 子どもの入園、入学の際は両家ともお祝いをどうしようかと、楽しみに考えてくれたりします。ここは先手を打って、ランドセルはママの実家、洋服はパパの実家と振り分けてお願いして、みんなハッピー！



📖 モノより思い出編

義母は、保育士だったこともあり子どもが大好き。自分の子育ての体験談や客観的な子育ての話が聞けて、私は、どんなモノをもらうよりも助かります。実母は、定年



「モノ」だけではなく、「知識」や一緒に過ごした「思い出」も、ずっと心に残る素敵なプレゼントになるかもしれませんね。

Good! した今も働いていた頃のように色々買ってくれます。でも、モノを買うより一緒に遊びに行こう！と提案しようと思っています。

🕒 時間をかけると変わることもあるよ編

今はイライラしても、長～い目でみたら考え方も関係も変わるし、悪いことはかりじゃないかもね。

じいじが、孫に10年間ガチャガチャを買い続けています。そのお金を合計したらディズニーランドに遊びに行けたのに！と考えてしまいます。



Good! じいじは、何でも言うことを聞くものだから息子とは仲良し。その息子が高校生になって介護状態になったじいじを優しく介助しているのを見ると、じいじと孫の甘い関係も悪くなかったのかなって思います。

夫の実家は正直避けてきました。でも、3人目も生まれ、自分のためにも上の子どもたちをあえて遊びに行かせるようにしたら、子どもたちも楽しそうだし、何より自分が助かって関係も良くなりました。

遊びも人間関係も変化するよ



Good! 赤ちゃんの時は気が乗らなくても、子どもの成長や生活の変化と共にじいじ・ばあばとの関係も変わることもありますよ。子育てに沢山の手や関わりがあることで、子どもも私も豊かに成長できていると思います。

📱 離れても、近くに住んでいてもコミュニケーション

子どもの成長や、普段の生活の様子を共有。お互い親しみも感じ、会ったときに会話しやすいよね！

📺 無料のテレビ電話

子どもの様子をスマホやタブレットの無料のテレビ電話を利用して見えています。「ばあばだよ～」と話しかけると「ばあ」と反応が返ってきます。



📷 写真共有アプリ

無料のアプリをダウンロードして、共有(パパ・ママ・じいじ・ばあば)して使っています。写真だけでなく動画も送れるし、感想のやり取りで楽しんでいます。



📁 簡易アルバム

写真を撮ったものを簡単にアルバムにしてくれるサイトやアプリを利用しています。スマホが使えない両親にプレゼントしたら喜ばれました。



地域の未来に関わる たまご育て

他人の孫を「たまご」っていうんだって。
やりがいを持って地域の子育てに関わっている
お二人にインタビューしてきました！



新潟市在住
脇本 和敬 さん
(70代)
孫はいません。娘と息子の子育てに積極的に関わった経験あり。

出会いで世界が広がった。

●きっかけ
退職後シニア研修に参加。子育て応援施設ドリームハウスに見学研修に行った際、子どもとふれあう姿を見たスタッフに声をかけられ、シニアボランティアとして参加することに。

●やりがい
期待して待っていてくれる人がある嬉しさ、人生まだまだ勉強！と思えることがやりがい。0歳から100歳近い人たちとの出会いがあり、仕事をしていた時より世界が広がりました。ボランティアは仕事ではないので、無理をし過ぎず、自分なりの関わり方で楽しく続けています。退職後、ゴルフなど趣味を楽しむ人も多いけど、遊びはたまにだから楽しいんじゃないかな？ 仕事をしていた頃と変わらない仲間や世界しか知らないなんてもったいない!! まだまだ人生長いんだから、子どもたちから刺激をもらい、自らも一緒に楽しめば、世界が広がるよ！

<子育て応援施設ドリームハウス／いいがたっ子☆スペースくろさき／ツインストリップカフェ／小学生放課後キッズランド／(運動推進員) デイサービス／地域の茶の間で活動中>



新潟市在住
奥山 優子 さん
(70代)
孫がいます。子どもに関わる塾の仕事経験あり。

元気をもらっています！

●きっかけ
ボランティアにもともと興味が有り、退職のタイミングで子育て支援講座を受講し「スペースくろさき」を知りました。*スペースくろさき

●やりがい
若いお母さんたちとの会話や、エネルギーに満ち溢れた未来ある子どもたちから元気をもらえます。幅広い年齢のスタッフ仲間も増えました。自分の孫育ての自信になりましたし、孫育ての経験があるからお母さんたちに寄り添うこともできます。生活に張り合いがでて、若々しくいられます。体を動かすので、楽しく老化防止になっていますよ。

<いいがたっ子☆スペースくろさき／小学校で絵本の読み聞かせボランティアとして活動中>

「たまご育て」してみませんか？

閲覧板で
まめに情報
チェック！

子ども食堂で、子ども
たちと一緒にご飯を
食べるところから
スタート

西区社会福祉協議会の
ボランティア・市民活動セ
ンターに問い合わせる
TEL.025-211-1630

おじいちゃん、おばあちゃん だからこそ伝えられること

NPO法人ファザーリング・ジャパン理事
NPO法人孫育て・ニッポン理事

村上 誠



自己肯定感を高める子育て孫育て

子どもの自己肯定感を育むには、他の子と比べたり結果で評価せず、ありのままを受け入れてあげることが大切です。無条件に愛情を注げるのはじいじ・ばあばの特権。「自分は価値のある存在だ」「自分は必要とされている」と肯定できるようにいっぱい可愛がってあげましょう。

子育てに自信を持たず仕事との両立に悩むパパママにも寄り添ってあげてください。褒める育児をしたくても自身が褒められた経験に乏しいパパママたち。今どきの子育てや働き方を否定せず、親として子育ての先輩として認めて、頑張りを褒めてあげて。パパママの自己肯定感が高くなれば、孫にもいい影響があります。

孫と一緒に五感を刺激する体験を

テレビやスマホ、ゲームといったデジタル漬けの今どきの子どもたち。じいじ・ばあばはアナログで五感に刺激を与える関わりを心がけて。孫のペースにあわせて一緒にのんびりお散歩して、道端に咲く花や虫を観察したり、

土いじりや自然体験もいいですね。コマ回し・竹馬・お手玉など手先の感覚や体幹を使った昔遊び・伝承あそびを重心に返って一緒に楽しみましょう。将棋・囲碁・かるたなど昔取った杵柄を披露するもよし、日本の文化や伝統を次世代に伝えて下さい。

孫の心を育くみ、夢を応援！

昔ばなしの登場人物はお爺さんお婆さんが多いですね。その大きな理由は、親が働きに出ている間に祖父母が孫の世話をしてお話を聞かせていたから。自分に近い目線の話が好まれて伝承されてきたのです。昔ばなしに書かれているのは善悪や道徳、礼節などが主なテーマ。お話の主人公はお爺さんお婆さんのもとですくすく育てて大志を抱き、世に出て活躍をします。今どきのじいじ・ばあばも孫の心の成長に関わり、孫の夢を応援してあげましょう。

●プロフィール

村上 誠

3世代同居、2児の父。実母の介護を機にワーク・ライフ・バランスを見直し、育児と介護のダブルケア、妻の産後職場復帰・両立・キャリア支援のため兼業主夫となる。父親の育児・家事参画、夫婦関係、孫育て、地域での子育て支援など幅広い家族・育児テーマを取り扱い、全国で講演活動やイベントに出演。





オレンジリボン運動
「オレンジリボン運動」は
子ども虐待防止の
シンボルマークです。

——— 大切な子どもを守るために ———

知っておこう！子ども虐待



身体的虐待

なく け たた 殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、家の外にしめだす など

性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

ネグレクト

乳幼児を家に残して外出する、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、他の人が子どもに暴力を振るうことを放置する など

心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

乳幼児揺さぶられ症候群 — 赤ちゃんを激しく揺さぶらないで —

おむつを替えても、授乳をしても、抱っこをしても・・・何をやっても泣きやまないことが赤ちゃんにはあります。そんな時、赤ちゃんを激しく揺さぶると、頭(脳や網膜)に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落としてしまうこともあります。どうしても泣きやまない時は赤ちゃんを安全な場所に寝かせ、その場を少しの間でも離れ、まずは自分をリラックスさせましょう。

詳しくはこちら



子どもを健やかに育むために — 愛の鞭ゼロ作戦 —

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。次のポイントを心がけながら、子どもに向き合しましょう。

- ①子育てに体罰や暴言を使わない
- ②子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- ③爆発寸前のイライラをクールダウン
- ④親自身がSOSを出そう
- ⑤子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

詳しくはこちら



虐待を受けたと思われる
子どもがいたら・・・

ご自身が出産や
子育てで悩んだら・・・

子育てに悩む
親がいたら・・・

児童相談所や市区町村の相談窓口にご連絡ください。

あなたの1本の電話で救われる親子がいます。

●連絡・相談は匿名でもできます。●連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

いち は や く
189 児童相談所全国
共通3桁ダイヤル
お住まいの地域の児童相談所につながります。
※一部のIP電話からはつながりません。

西区健康福祉課
こども支援係
025-264-7343
※月～金 8:30～17:30

子育て相談窓口

子育ての不安や心配事は、ひとりで悩まずお電話ください。

相談窓口 西区健康福祉課に相談する



相談先がわかる場合

保育園

児童手当

児童福祉係

025-264-7340

健診

予防接種

妊娠・出産

妊娠・子育て
ほっとステーション

<健康増進係>
025-264-7423

相談先に迷ったら

こども支援係

025-264-7343

まずは
お電話ください



相談員

相談窓口 子育てなんでも相談センター きらきらに相談する

子育て相談の流れ

①電話する。
相談ダイヤル **025-248-2220**
(電話受付 平日8:30～17:15)

メールでも受けています。
✉kirakira3@syakyo-niigatacity.or.jp

②お話を伺います。

★一緒に考えます。 ★必要な情報をお伝えします。

★相談内容によっては専門機関へおつなぎします。



イヤイヤ期の対応で、ママが子育てに自信を失くしている。祖父母としてどんなサポートができるだろうか。

孫がお座りできるようになったが、ハイハイをしない。私の子育ての経験上、ハイハイをしないと歩けないと思っている。何か障がいがあるのだろうか。でも、ママには言えないわ。



里帰り中に予防接種の時期がくるが、住民票は県外。新潟市内で接種できますか？